

METE O RFオプティカルマウス

<p>最初に ご確認ください。</p>	セット内容	
	マウス本体	1台
	レシーバー	1台
	単3電池(テスト用)	2個
	ドライバディスク(8cmCD)	1枚
変換アダプタ(USB-PS/2)	1個	
	取扱説明書	1部

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、当社Web(<http://www.sanwa.co.jp/>)を
ご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本誌に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

目次

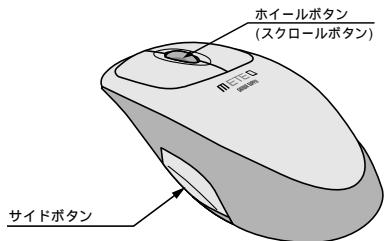
1	目次
2	はじめに(特長、スクロールについて)
	警告
3	対応機種
	接続する前に必ずお読みください
	・本製品をUSBポートの接続する際の注意
	・BIOS上でUSBがdisable/ディセーブル(無効)になっている場合
	・内蔵ポインティングデバイスの切り離し
6	マウスの接続
	・USBポート接続の場合 ・PS/2ポート接続の場合 ・IDの設定
9	ソフトウェアのインストール
	・Mouse Suite(マウススイート)2002のインストール
11	マウスの使用方法
	・各部の名称 ・左右のボタン ・ホイールボタン
12	ホイールボタン(スクロールボタン)の使用方法
	・スクロール ・クイックスクロール ・オートスクロール
	・ズーム ・データのズーム
13	Mouse Suite 2002のコントロールパネル
14	電池残量の確認方法
	マウスプロパティのタブ
	・拡大鏡 ・ハイパーリンク ・ハイパーグリッド
16	その他の機能
	ダブルクリック
17	方向
	ホイール
	・ホイール ・ホイールボタン
19	ポインタユーティリティ
	・ポインタラップ ・ポインタを隠す ・ソナー ・スローモーション
	・X焦点 ・オートジャンプ
21	Mouse Suite 2002
	・オンライン製品サポート ・アンインストールユーティリティ
	・マウスアイコンをタスクバー上に表示
21	テクニカルサポート
22	トラブルシューティング

はじめに

この度は、RFオプティカルマウスMETEOをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品はRF方式のワイヤレスマウスですので、入力操作の際ケーブルが邪魔になるといった煩わしさがなく、快適な環境でのコンピュータ操作が可能となります。本製品は、ボールを使わないオプティカル方式(光学式)のマウスです。通常の使い方にプラスして、ひざの上などでも操作が行えるので、様々なシーンで威力を発揮します。ボールを使わないので、チリやホリがたまってボールの動きがスムーズでないといったことがない、メンテナンスフリー構造になっています。

マウスのスクロールを回転、クリックさせるだけで、Windows上で簡単に画面スクロール等が行えます。また、本製品は、サイドボタンやホイールボタンにハイパーグリッド、ハイパーリンク、拡大鏡などの各種コマンドやMS-Excel、MS-Wordなどのアプリケーションソフトを割り付けることができ、大変便利です。

ご使用前にこのマニュアルをよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できる様にしておいてください。



警告

テレビ/ラジオの受信障害について

本製品は、FCCの定めるクラスBのコンピュータ機器に対する許容条件につき、所定の審査の上、FCC-15章の規定内容に適合するものとして認定されています。FCC-15章は居住環境において防止すべき受信障害の規制基準を定めたものですが、装置の設置状況によっては受信障害が発生する場合があります。

ご使用のコンピュータシステムが受信障害の原因となっているかどうかは、そのシステムの電源を切ることでご確認いただけます。電源を切ることにより受信障害が解消されれば、ご利用のコンピュータ、あるいは、その周辺装置が原因であると考えられます。ご使用のコンピュータシステムがテレビやラジオの受信状態に影響している場合、以下の手順のいずれか、あるいはいくつかを組み合わせてお試しください。

テレビまたはラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置を探してみてください。

テレビまたはラジオから離れた場所にコンピュータを設定し直してください。

テレビまたはラジオとは別の電源供給線にあるコンセントにコンピュータを接続してください。状況に応じ、テレビ/ラジオの修理業者またはマウスの販売店にもご相談いただけます。

注意

本製品に対し許可しない変更または加工が加えられた場合、FCCの許可が無効となり、正規の製品としての使用は認められませんのでご注意ください。

この文章中に表記されるその他のすべての製品名などはそれぞれのメーカーの登録商標、商標です。

対応機種

下記のハードウェア、またはソフトウェア以上のもををご使用ください。
各社DOS/V/パソコン、NEC PC98-NXシリーズ、IBM PC、Aptiva、ThinkPadシリーズ(USBポート(Aタイプコネクタ)もしくはPS/2マウスポート(ミニDIN6pin)を持ち、8cmCDが使用できる機種)

対応OS USB:Windows XP・2000・Me・98SE・98

PS/2:Windows XP・2000・Me・98SE・98・95・NT4.0(SP3以降)

PS/2接続の場合は、内蔵ポイントティングデバイスとの併用はできません。
切り離してできない場合は、USB接続してください。

接続する前に必ずお読みください

本製品をUSBポート接続する際の注意(USB接続の場合)

本製品はWindowsにおいて自動認識され使用可能となります。もし、本製品が正常に動作しない場合、USBインターフェイスが正常に動作しているかどうかをチェックしてください。

「スタート」「設定(S)」「コントロールパネル(C)」「システム」の順に選択し、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」をチェックしてください。下の画面が表示されます。



これはUSBインターフェイスの正常な動作状況です。USBデバイスアイコンに「！」マークが表示されていたり、または「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のデバイスがなにも見つからない場合、マザーボードのBIOSをアップグレードしたり、BIOS設定を確認してください。

一部の機種ではデフォルトの状態ではUSBポートの使用が不可に設定されています。また、「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のベンダー名、デバイス名はマザーボードによって異なることがあります。インテル社以外の記述の際も必ず、本体(マザーボード)メーカーにサポートしてもらってください。

BIOS上でUSBがdisable(無効)になっている場合(USB接続の場合)

BIOS上のUSBをenable(有効)にしてください。
通常BIOSの設定はコンピュータ起動時にF1かF2を押すものが多いですが詳細な設定については、コンピュータ本体のマニュアルをご覧ください。

接続する前に必ずお読みください。(続き)

内蔵ポインティングデバイスの切り離し

< USB接続の場合 >

本製品添付のドライバは各社PCにあらかじめインストールされている内蔵ポインティングデバイス用のユーティリティと併用できません。ユーティリティを削除するか、添付ドライバをインストールしないでお使い下さい。

各ユーティリティによって削除方法が異なります。以下をご覧ください。

NEC PC98-NXシリーズ・富士通 FMV-BIBLOシリーズ・ソニー VAIOシリーズの場合デバイスマネージャ マウスでNXPADあるいは「Alps GlidePoint」を「標準PS/2マウス」あるいは「Microsoft PS/2 Mouse」にドライバを更新してください。途中「このデバイスの適していない……」とエラー表示される場合がありますが、そのまま進めてください。

東芝 Dynabookシリーズ・SHARP Mebiusシリーズの場合

アプリケーションの追加と削除より「マウスウェア」をアンインストールしてください。

IBM ThinkPadシリーズの場合

アプリケーションの追加と削除より「IBM Trackpoint」をアンインストールしてください。

Compaq Armadaシリーズの場合

アプリケーションの追加と削除より「Synaptics TouchPad」をアンインストールしてください。その後デバイスマネージャ マウスで「Synaptics TouchPad」を「標準PS/2マウス」あるいは「Microsoft PS/2 Mouse」にドライバを更新してください。途中「このデバイスの適していない……」とエラー表示される場合がありますが、そのまま進めてください。

USBポート接続の場合、以上で前準備は終わりです。マウスの接続を開始してください。

接続する前に必ずお読みください。(続き)

内蔵ポインティングデバイスの切り離し

< PS/2接続の場合 >

タッチパッド等のポインティングデバイスは、外付けPS/2スクロールマウスと併用することはできません。代表的な設定の例を下記にて説明しますが、詳細につきましては、パソコン本体のマニュアルをご覧ください。

NEC PC98-NXシリーズ・富士通 FMV-BIBLOシリーズ・

SHARP Mebiusシリーズの場合

1. 起動時、ロゴ等が表示されている時に「F2」キーを押し、BIOSセットアップを起動してください。
2. 詳細 NXパッドあるいはInternal Pointing Device等を自動にしてください。以前の機種では、使用する/使用しないの選択項目になっておりますので、「使用しない」にしてください。

ソニー VAIOシリーズの場合

コントロールパネル Notebook Setupにてタッチパッドを使用しないように設定してください。

東芝 Dynabookシリーズの場合

スタート プログラム 東芝ユーティリティあるいは、ハードウェアセットアップ ハードオプション ポインティング装置で自動あるいはオフにしてください。

IBM ThinkPadシリーズの場合

ThinkPadユーティリティでトラックポイントを使用しないに設定してください。

マウスの接続

注意:ドライバソフトをインストールする前にマウスのレシーバーを接続してください。
インストール前に他のアプリケーション等を外しておくことをお勧めします。
本製品はUSBインターフェイス及びPS/2マウスインターフェイスに対応したコンボタイプのマウスですので、接続には二通りの方法があります。

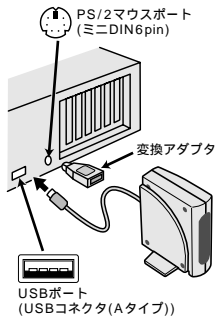
まず初めに、マウス本体の裏側にある電池蓋から、絶縁フィルムを引き抜いてください。フィルムが抜かれたままの状態では、マウスが動作しません。

USBインターフェイスによる接続

- 1.コンピュータの電源を入れ、Windowsを起動させます。
- 2.本製品をコンピュータのUSBポートに接続します。
- 3.接続完了後にID(マウスとレシーバーの照合)の設定を行います。

PS/2マウスポートによる接続

- 1.コンピュータの電源を切ってください。
- 2.コンピュータに接続されているマウスが他にもあれば、取り外してください。
- 3.付属の変換アダプタを使用して、本製品をコンピュータのPS/2マウスポートに接続します。
- 4.コンピュータの電源を入れ、Windowsを起動させます。
- 5.接続完了後にID(マウスとレシーバーの照合)の設定を行います。



詳細な設定については、後ほど説明します。接続の際、コネクタには上下がありますので注意してください。

一部の富士通FMVノート、IBM ThinkPadなどポインティングデバイス内蔵の一部のノートパソコン(排他制御機能のないタイプ)及びNEC PC98-NXデスクトップパソコンなど(USBキーボードにPS/2マウスポートが付いているパソコン)には、USBポート接続により対応しています。

USBポート接続の場合

コンピュータの電源を入れ、Windowsを完全に起動させます。
本製品を、コンピュータのUSBポートに接続します。
自動的にハードウェアの検知が始まり、デスクドライバを更新するためのウィザードが起動します。
あとは、画面の指示に従ってインストール作業を進めてください。

Windows XP/2000では、下記インストール方法と画面等が異なります。

新しいハードウェアの追加ウィザード

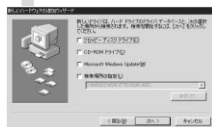


新しいドライバを検索しています。
USBヒューマンインターフェイスデバイス
----- 次へ

マウスの接続 (続き)



検索方法を選択してください。
使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)
----- 次へ



新しいドライバはハードドライブのデータベースと、次の選択した場所から検索されます。
チェックボックスにチェックマーク(✓)を
入れずに ----- 次へ
もし検索場所を聞いてきたら
✓ 検索場所の設定(上)

C:\WINDOWS\INF

もしくは、C:\WINDOWS\OPTIONS\CABS
Windows 2000の場合は検索場所を、C:\WINNT\INFにしてください。
もし、上記の検索場所でドライバが見つからない場合は、CD-ROMドライブにWindows Me等のCD-ROMを挿入し、✓ CD-ROMドライブ(C)にチェックを付けてください。



次のデバイス用のドライバファイルを検索します。
USBヒューマンインターフェイスデバイス
----- 次へ



USBヒューマンインターフェイスデバイス
----- 完了

接続が完了したら、IDの設定へ。

マウスの接続 (続き)

PS/2マウスポート接続の場合

コンピュータの電源を切ってください。
コンピュータに接続されているマウスが他にもあれば、取り外してください。
付属の変換アダプタを使用して、本製品をコンピュータのPS/2マウスポートに接続します。

接続方法については6ページを参照してください。
コンピュータの電源を入れ、Windowsを起動させます。

接続が完了したら、IDの設定へ。

IDの設定

ID設定はマウスとレーザーを照合して、複数台使用する際に混信しないようにするためのものです。

本製品は4096通りのID No.があり、下記の設定により自動的に振り分けられます。

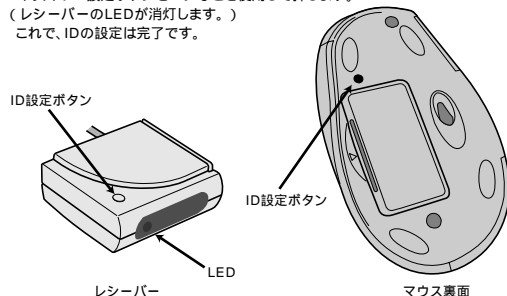
レーザーが接続された状態で、Windowsを完全に起動させます。

レーザーのID設定ボタンを押します。(レーザーのLEDが点灯します。)

マウスのID設定ボタンをペンなどを使用して押します。

(レーザーのLEDが消灯します。)

これで、IDの設定は完了です。



IDの設定が完了したら、Mouse Suite(マウススイート)2002のインストールへ。

ソフトウェアのインストール

Mouse Suite(マウススイート)2002のインストール

重 要: マウスを接続し、カーソルが正常に動くことを確認してから、ドライバソフトウェアをインストールしてください。インストール前に他のアプリケーション等を外しておいてください。

アドバイス: ソフトウェアをインストールしなくても、マウスの基本的なスクロールは使えます。もし、サイドボタン割り付けやハイパーグリッドなどMouse Suite 2002の特別な機能を使いたい場合は、ソフトウェアのインストールが必要になります。

Windowsを完全に起動させ、Mouse Suite2002をCD-ROMドライブに入れてください。

Mouse Suiteセットアッププログラムが自動的に立ち上がります。もし自動的に立ち上がらない場合は、「スタート」「ファイル名を指定して実行」、「D:\¥Setup.exe」(DがCD-ROMドライブの場合)でセットアッププログラムを立ち上げてください。

あとは画面の指示に従ってインストール作業を進めてください。

Mouse Suite2002



ようこそ

Mouse Suite2002セットプログラムへようこそ。
このプログラムはMouse Suite2002をシステムにインストールします。

----- 次へ(N)



ハードインターフェイスの選択

PS/2(P)
シリアル(RS-232C)(S)

• USB(Universal Serial Bus)(U)

「USB」を選択して ----- 次へ(N)

(PS/2マウスポート接続の場合、PS/2(P)に
チェックマークを入れてください。)



マウスの場所を選択

• キーボード右側(右利きユーザー)(R)

キーボード左側(左利きユーザー)(L)

----- 次へ(N)

ソフトウェアのインストール (続き)



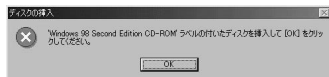
インストールの開始
インストールの準備ができました
----- 次へ(N)

この段階でエラーメッセージが出る場合があります。
次のページを参考にしてください。



セットアップ完了
セットアップがMouse Suiteをインストール
しました
----- 完了(E)

セットアップ中に下記のようなダイアログが表示されることがあります。「OK」をクリックしてください。



この場合「ファイルのコピー元」にインストールディスクのドライブ名を指定してください。

CDの場合は環境によって違います。

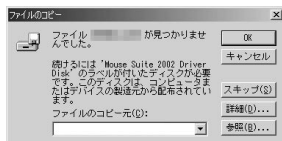
ドライブ(CD)がDドライブの場合を例にあげています。

Dドライブ以外にCDが挿入されている場合は先頭の文字をそのドライブ名の先頭の文字に置き換えてください。

< Windows Me/98の場合 > d:\w98

< Windows XP/2000の場合 > d:\w2k

< Windows NT 4.0の場合 > d:\wnt4



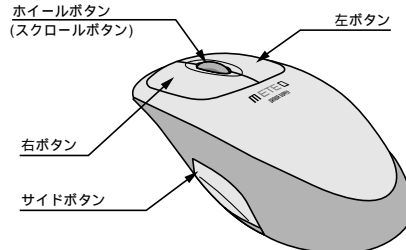
Windows 2002の場合、インストール作業中に警告メッセージがでる場合がありますが、インストール作業を継続していただいで問題ありません。

マウスの使用方法

各部の名称

本製品には、ホイールコントロール(ホイールが回転し、スクロールなどの操作が行えます。またボタン機能としての設定をすることも可能です。)機能が付いており、マウスで直接スクロールができますので、Windows上でマウス操作をより楽にこなせます。(スクロール、オートスクロール、クイックスクロール)

本製品は、Microsoft IntelliMouse機能も持っていますので、MS Office 97のうにIntelliMouse機能を持っている場合であれば、幅広いナビゲーション(スクロール、クイックスクロール、オートスクロール、ズーム、データズームなど)が行えます。



左ボタン・右ボタン

左ボタンは通常クリック、ダブルクリックに使われます。また、右ボタンはWindows 98/95でのアプリケーションごとに設定されているマウスの働きも行いますし、またポップアップメニューの表示もすることができます。

左利きの方などは「マウスのプロパティ」の中の「ボタンの選択(B)」で、お好みに合わせて変更可能です。

サイドボタン

サイドボタンは、「Windows 95キーボードファンクション」として割り当てることができます。ハイパーグリッド、拡大鏡などの各種コマンド機能やハイパーリンク機能により、アプリケーションソフトを割り付けることもできます。

ホイールボタン

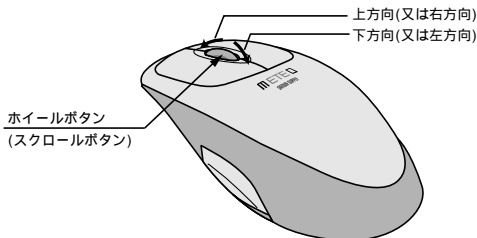
ホイールボタンは、スクロールモード(オートスクロール、クイックスクロール)以外に「Windows 95キーボードファンクション」として割り当てることができます。ハイパーグリッド、拡大鏡などの各種コマンド機能を割り付けることもできます。

ホイールボタン(スクロールボタン)の使用方法

スクロール

スクロールとはウィンドウ内を上下、左右へと移動させることをいいます。通常水平スクロールバーと、垂直スクロールバーをクリックすることでスクロールが可能になります。本製品ではホイールを回転させることでスクロールができます。カーソルをスクロールバー内の位置に持っていき、ホイールを回転させてください。

この時のスクロールの方向が水平方向であるか垂直方向であるかは、スクロールバー上にあるカーソルの位置によってマウスが自動的に判断してくれます。初期設定では、ホイールをモニター方向に回転させると、上または右方向(スクロールバー上のカーソルの位置による)にスクロールされます。手前方向に回転させると、下または左方向にスクロールされます。この方向の変更は、「ホイールタブ」の中の[設定]で「スクロール方向の逆転」をクリックすると可能です。



クイックスクロール

クイックスクロールは初期設定で既に設定されています。この機能で、ページごとまたは1行ごとのスクロールが行えます。ホイールボタンを押したまま、マウスをずらすとスクロールできます。

オートスクロール

これは、初めに少しスクロールするだけで、後は自動的にスクロールを続けてくれるという機能です。例えば、ホイールボタンを押し、マウスを手前に動かして少しスクロールするとそのままずっとスクロールします。このスクロールを止めるには、ホイールボタンをもう一度押してください。

ズーム

ズームはMicrosoft IntelliMouseの通常機能ですので、MS-OFFICE 97用のアプリケーションに対応しています。「ズーム」とはウィンドウ内の倍率を変えることです。「Zoom in」で倍率が上がります。「Zoom out」で倍率が下がります。また、コントロールキーを押しながらホイールを回転させると、ズームが簡単に行えます。

「Ctrl」キーを押しながらホイールをモニター方向に回転させると、倍率が上がります。


「Ctrl」キーを押しながらホイールを手前方向に回転させると、倍率が下がります。

ホイールボタン(スクロールボタン)の使用方法 (続き)

データのズーム

データについてのズームもMicrosoft IntelliMouseの通常機能ですので、MS-OFFICE 97用のアプリケーションに対応しています。この機能で、ウィンドウ内のズームの調整ができます。「Shift」キーを押しながらホイールボタンを回転させると、データのズームができます。また、アプリケーションによってはデータのズーム機能は多少異なります。例えば、Internet Explorerではハイパーリンクによるジャンプや元の画面に戻ることができたり、Microsoft Wordではヘッダーやテキストのアウトラインを拡大、縮小することができたりします。


Mouse Suite 2002のコントロールパネル

Mouse Suite 2002をインストール後、Windowsタスクバーに表示されているマウスアイコン  をダブルクリックすると、Mouse Suite 2002 コントロールパネルが表示されます。

Mouse Suite 2002のマウスコントロールパネルにより色々な機能が使用できるようになります。



マウスコントロールパネルを立上げる場合、下記に従ってください。

Windowsタスクバーに表示されているマウスアイコン  をダブルクリックしてください。

または、Windowsのスタートボタンを左クリックし、設定(S)の中のコントロールパネル(C)を選択してください。コントロールパネルの中のマウスアイコンを選択してください。

電池残量の確認方法

Mouse Suite 2002をインストールすると、画面右下タスクトレイにアイコンが表示され、電池残量を視覚的に把握することができます。



.....充分な容量です。



.....少し消耗していますが、まだまだご使用になれます。



.....半分以下になっています。



.....容量がありません。新しい電池に交換してください。

表示は、あくまで目安です。

マウスプロパティのタブ

Mouse Suite 2002は、マウスプロパティで使用したいタブをクリックすると、色々な機能を使う事ができます。

「ボタン」の設定

ボタンページを開くとマウスボタンの機能のカスタマイズができます。初期設定は以下で説明しています。



左ボタン：第一マウスボタン

右ボタン：コンテキストメニュー

ホイールボタン：クイック/オートスクロール
マウスの設定を変えたい場合、下記に従ってください。

マウスプロパティのタブ (続き)

メニューの中にあるボタンをクリックしてください。または、「ボタン(B)」リストの中からボタンを選択してください。選択したボタンがボタンリストとマウスアイコンの中に出ます。

そして、「機能(F)」リストからボタンの機能を選んでください。(最低一つのボタンをメインマウスボタン(第一マウスボタン)の設定にしてください。)

マウスボタンの機能を初期設定に戻したい場合、「デフォルト値を使用(D)」をクリックしてください。

ボタンの設定を確認する場合、「適用(A)」をクリックしてください。

拡大鏡

マウスボタンを拡大機能として選択すると、クリックするだけでカーソルの周辺が拡大されます。

「ボタン(B)」の中からボタンを選択してください。そして、拡大機能を可能にするため、ファンクションリストの中から「拡大鏡」を選択してください。

「設定(S)」の機能で拡大のサイズを調節することができます。

最後に「適用(A)」をクリックしてください。拡大機能がマウスのクリックで実行可能になります。

ハイパーリンク

マウスボタンをハイパーリンクとして選択すると、クリックするだけでアプリケーションまたはドキュメントを簡単に開くことができます。

「ボタン(B)」の中からボタンを選択してください。ファンクションリストに入っていないドキュメントまたはアプリケーションを選択したい場合、ファンクションリストの中から「ハイパーリンク」を選択してください。

次に、「設定(S)」をクリックしてください。「参照(R)」をクリックし、適切な登録したアプリケーションを選んでください。選択した機能を確定する際は、「OK」をクリックして最後に「適用(A)」をクリックしてください。ハイパーリンク機能がマウスのクリックで実行可能になります。

ハイパーグリッド



ハイパーグリッドには9つのWindows機能があります。この9つの機能は1つの画面上で選択できるので1クリックで簡単に使用できます。

上記の手順と同じように、いずれかのマウスボタンをハイパーグリッド機能として選択してください。ハイパーグリッドの使用の際は、ハイパーグリッド機能を割り当てたマウスボタンを押さずにしておくとグリッドが現れますので、ボタンを押したまま選択したいアイコンまでカーソルを移動させボタンを放してください。

その他の機能

ボタン割り付け機能の一覧

後退	ページを下へ
ウィンドウを閉じる	ページを上へ
コントロールパネル	貼り付け (Ctrl+V)
コピー (Ctrl+C)	第一マウスボタン
コンテキストメニュー	プリンタ
切り取り (Ctrl+X)	クイック/オートスクロール
ダブルクリック	ごみ箱
ドラッグロック	Ctrl+A
Enter	ウィンドウを元のサイズに戻す
Esc	スタートボタン
F1～F12	インターネット
ウィンドウの最大化	元に戻す (Ctrl+Z)
マウスの中央ボタン	エクスプローラー
ウィンドウの最小化	Shift
マイコンピュータ	Alt
ハイパーグリッド	Ctrl
次のウィンドウ	ハイパーリンク
	拡大鏡

ダブルクリック

ダブルクリックの機能で、アプリケーション上でのダブルクリックに対する反応の速さを調節することができます。



ダブルクリックのスピードを調節する場合、ダブルクリックの速度(D)内のスライダーをクリックアンドドラッグで左右に移動させてください。左側に移動させると速度は遅くなり、右側に移動させると速くなります。マウス操作に慣れていない方は、バーを左側に移動させると、ダブルクリックの速度は遅くなるので、使い易くなります。

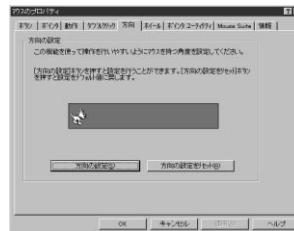
「デフォルト値に戻す(R)」をダブルクリックするとスピードの設定をリセットすることができます。

ダブルクリックのスピードを試したい場合は、テストエリアにあるアイコンをダブルクリックしてください。

確認は、「適用(A)」をクリックしてください。

方向

この機能で、一番使い易いマウスのポジションを設定することができます。



「方向の設定(S)」をクリックするとマウスの位置の設定画面が出てくるので、これに従ってください。

位置の設定を初期設定の戻す場合は「方向の設定をリセット(R)」をクリックしてください。

確認は、「適用(A)」をクリックしてください。

ホイール

ホイールの設定で、スクロールとホイールのボタンの設定ができます。



ホイール (W)

Mouse Suite 2002は、Microsoft Intellimouseと互換性があります。Intellimouseのエミュレーションを選択すると、ホイールのスクロール機能はMicrosoft Office 97と互換性のあるアプリケーションのみ使用できるようになります。

Microsoft Intellimouseのエミュレーションのみを使用したい場合は、「Microsoft Office 97 スクロールエミュレーションのみを使用(M)」を選択し、「適用(A)」をクリックしてください。

ホイール (続き)

Mouse Suite 2002には「ユニバーサルスクロール機能」があり、ほとんどのアプリケーションのスクロールバーに使用できます。
(例: WordPerfect 97, Netscape Navigator 3.0, Microsoft Office 95)
しかし、ユニバーサルスクロール機能を選択している場合、マウスはIntellimouseの拡大・縮小機能が使えなくなります。
この機能を使いたい場合は、「例外(X)」ボタンを選択し、Intellimouseモードで使用したいアプリケーションを指定してください。

「ユニバーサルスクロール機能」を使用可能にする場合は、ホイールの中にある「ユニバーサルスクロールを使用(E)」を選択し、「適用(A)」をクリックしてください。

拡大・縮小機能を使用可能にしたいアプリケーションを指定するために、ホイールにある「例外(X)」ボタンを選択してください。次に「追加(A)」ボタンをクリックしてください。そして、指定したいアプリケーション名をプログラムパスに入力してください。「参照(B)」ボタンで追加するアプリケーションを選択することができます。確認は「OK」をクリックしてください。指定したアプリケーションを削除したい場合、「削除(R)」をクリックし「OK」で確定してください。

ホイールボタン (B)

「ホイールボタン(B)」でマウスのホイールボタン機能の変更ができます。

「クイック/オートスクロールコントロール(Q)」を選択すると、クイックスクロール/オートスクロール機能が使えます。
スクロール/オートスクロール以外の機能をホイールボタンに割り付けたい場合は、「ボタン機能(U)」をクリックしボタンファンクションリストが表示されます。このリストの中から機能を選択し、「適用(A)」をクリックして確認してください。

ホイールボタン (C)

「スクロール速度(C)」でホイールボタンのスクロールスピードの調節ができます。

「スクロール(Q) ライン/ノッチ」を選択し、1行から20行までのスクロールの幅の調節ができます。矢印でスクロールの幅の調節を行ってください。
「1ノッチにつき1画面をスクロール(N)」を選択すると、スクロールは1画面ごとにスクロールされます。
スクロールの方向を逆にしたい場合、「スクロール方向を逆転(V)」にチェックを入れてください。

ホイールの設定を確認する場合「適用(A)」をクリックしてください。

ポインタユーティリティ

ポインタユーティリティを開くと、ポインタラップ、ポインタを隠す、ソナー、スローモーション、X焦点、オートジャンプの機能を設定することができます。
ポインタユーティリティの機能及び画面は、OSのタイプによって異なります。



ポインタユーティリティの機能を使用可能にするために、どれかにチェックを入れ「適用(A)」をクリックしてください。

ポインタラップ (W)

「ポインタラップ(W)」を使用可能にすると、ポインタを画面のほしに移動したとき自動的にカーソルが画面の反対側に現れます。

ポインタを隠す (V)

「ポインタを隠す(V)」を使用可能にすると、タイピング時カーソルが消えます。マウスを移動させると自動的に画面にカーソルが現れます。

ソナー (O)

「ソナー(O)」の機能で簡単にカーソルの位置が確認できます。Ctrlキーを押すと、ソナー機能が使用可能になります。この機能は他のCtrlキーの機能に干渉しません。

スローモーション (S)

Shiftキーを押せばなしにすると、カーソルを一時的にゆっくり移動させることができます。この機能は他のShiftキーの機能と干渉しません。

X焦点 (X)

タイトルバーにカーソルを移動すると、そのウィンドウをアクティブにすることができます。ウィンドウを切り替える時にクリック無しで行えるので大変便利です。

オートジャンプ (J)

「オートジャンプ(J)」を選択すると、ダイアログボックスを開いたとき、カーソルが自動的にデフォルトボタンに移動します。

Mouse Suite 2002

Mouse Suite 2002のページは、色々なオンライン製品サポートのリンクまたはアンインストールとタスクバーマウスアイコン機能があります。



オンライン製品サポート

お問い合わせは弊社Webサイトより「サポート」「お問い合わせについて」「商品に関するお問い合わせ」のリンクをたどり、問い合わせフォームに必要事項を記入して送信してください。

Mouse Suite のアップデートドライバをダウンロードする場合、弊社Webサイトに行き、ダウンロードできます。

アンインストールユーティリティ (U)

Mouse Suite 2002をアンインストールする場合、「アンインストール(U)」ボタンをクリックし、画面に出てくる指示に従ってください。

マウスアイコンをタスクバー上に表示 (S)

Mouse Suite 2002のアイコンをWindowsタスクバーに追加したい場合、「マウスアイコンをタスクバー上に表示(S)」にチェックマークし、「適用(A)」をクリックしてください。

テクニカルサポート

Mouse Suite 2002インストールが上手くできない場合、テクニカルサポートスタッフまでご連絡ください。問題解決に万全を尽くします。

ホームページ: <http://www.sanwa.co.jp/>

Mouse Suite 2002のマウスコントロールパネルに入っています。

お問い合わせは弊社Webサイトからが便利です。

「サポート」「お問い合わせについて」「商品に関するお問い合わせ」よりサポートフォームに入力してください。

